

# TDC通信パッケージ 導入・移行マニュアル

本書はTDC通信パッケージのインストールと、  
設定移行のマニュアルです。

株式会社 トヨタシステムズ

2022年10月24日

ver.1.1.4

日付	版数	改訂内容
2018/04/01	1.0.0	初版
2018/11/09	1.1.0	TDC通信パッケージ 1.1.0 版 リリースに伴う改定
2019/01/01	1.1.1	会社名変更
2021/03/26	1.1.2	TDC通信パッケージ 1.1.1 版 リリースに伴う改定 対応OSの修正
2022/08/26	1.1.3	ダウンロードページアドレス変更
2022/10/24	1.1.4	ページ番号とタイトル変更

## TNS通信パッケージをご利用中の方

システム管理メニュー(管理者向け)から、システム停止を行って下さい。

## TDC通信パッケージの動作に必要な環境

TDC通信パッケージをご利用頂く場合、下記条件を満たす必要が御座います。






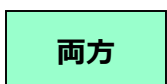
No.	動作に必要な環境	条件
1	導入対象端末	OS: Windows 10 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 メモリ: 1GB以上 HDD: 10GB以上 ディスプレイ: 1366x768以上
2	Microsoft .NET Framework 4以上	<b>「A.参考情報 .NET Frameworkのインストール」を参照し、インストールを行って下さい。</b> OSに標準搭載されている場合はインストール不要

## ご加入するサービスによる手順の違い

ご加入するサービスにより、インストール作業の手順が異なります。

### ご加入のサービスのマークが付いているページの作業を行う

ようお願い致します。

・DIEX（汎用）サービスのみご加入の場合		
・u-DIEX（汎用）サービスのみご加入の場合		
・DIEX（汎用） / u-DIEX（汎用）サービスにご加入の場合		

## 高速スタートアップとは

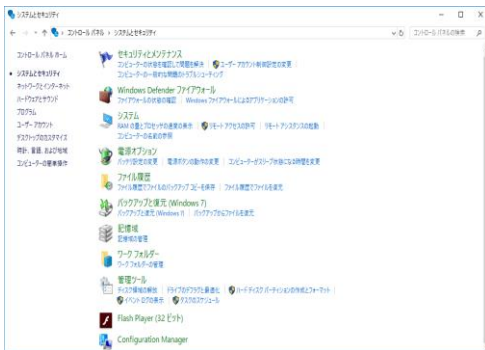
パソコンの起動を速くするため、シャットダウン時にメモリやCPUなどの状態を保存しておく機能です。通信パッケージのスケジュール処理が意図しない時間に動作することがあるので、**無効化**を推奨いたします。  
※Windows10 に限る

## 手順方法

1. 「コントロールパネル」を開きます。
2. 右上にある表示方法が「カテゴリ」になっている事を確認  
「システムとセキュリティ」をクリックします。



3. 「電源オプション」をクリックします。



4. 左の項目にある「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。



5. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。



6. 「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックをクリックで外します。



7. チェックを外したら右下にある「変更の保存」をクリックします。



## インストール作業手順

DIEX

両方

u-DIEX

1. セットアッププログラムのダウンロード

2. 現行データのバックアップ

3. インストール

4. 現行パッケージ情報のリストア作業

5. システム起動

6. データ送受信テスト準備

7. 振分け情報のバックアップ

8. データ送受信テスト  
(DIEX (汎用) センターとのテスト)

9. 振分け情報受信

10. データ送受信テスト  
(u-DIEX (汎用) センターとのテスト)

完了



**注意**

管理者権限のあるユーザーでログインして下さい。

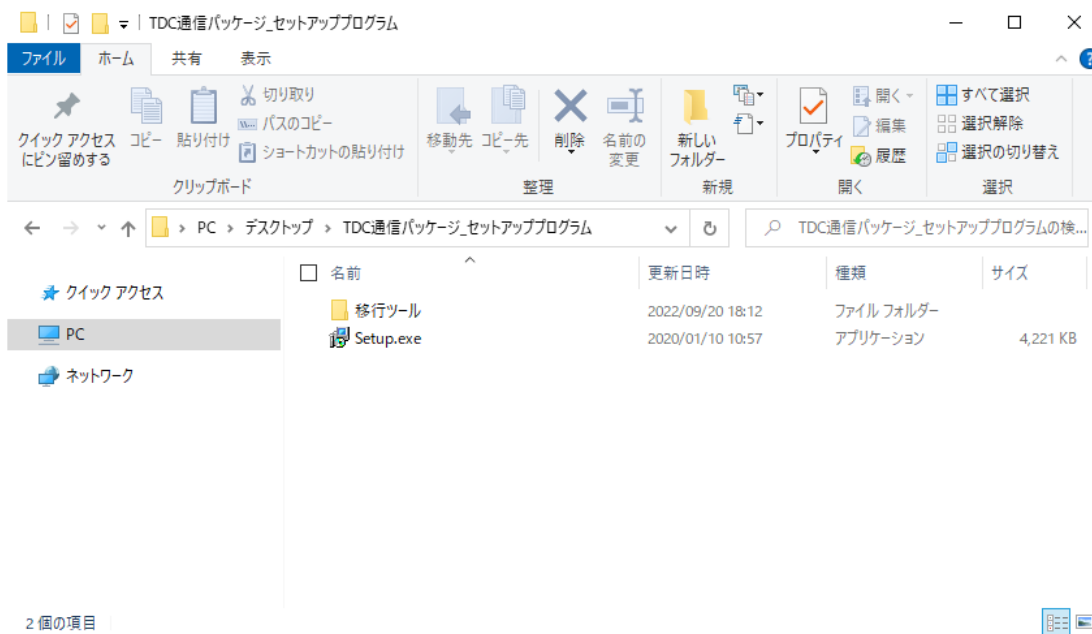
administrator権限のあるユーザーでログインして下さい。

1. TDC通信パッケージをインストールするPC起動して、Windowsにログオンします。
  2. TDCダウンロードサイトから、「**TDC通信パッケージ**」をダウンロードします。  
<https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/packageDownload.html>
  3. ダウンロードしたzipファイルを解凍し、展開します。  
解凍に必要なパスワードには、事前にお伝えしたパスワードを入力してください。
  4. 展開したファイルの中の「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」を、デスクトップへコピーします。
- 以上でセットアッププログラムのダウンロードは完了です。

OS変更等で、利用するPCが変更になる場合のみ実施してください。

### ★ 新しいPCで作業します

1. 「1. セットアッププログラムのダウンロード」でデスクトップへコピーした「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」フォルダを開きます。
2. 「移行ツール」フォルダを、現行PCへコピーします。(\*1)



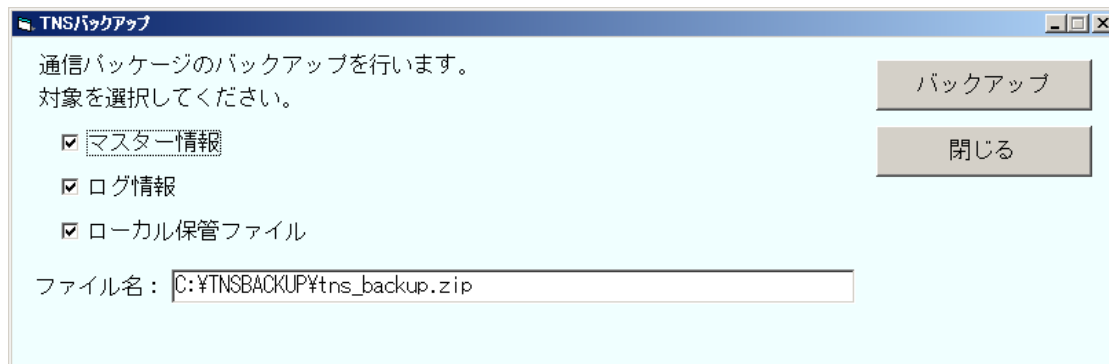
(\*1) 現行PCへコピーする手順がご不明な場合は、貴社システム管理者様へご相談ください。

### ★ 現行PCで作業します

3. 現行PCへコピーした「移行ツール」フォルダを開きます。

4. 「TNSBACKUP.exe」を実行します。

5. 「マスター情報」「ログ情報」「ローカル保管ファイル」を選択し、「バックアップ」をクリックします。



6. バックアップで作成された「tns\_backup.zip」ファイルを、新しいPCへコピーします。(\*2)

(\*2) 新しいPCへコピーする手順がご不明な方は、貴社システム管理者様へご相談ください。

以上で現行データのバックアップは完了です。

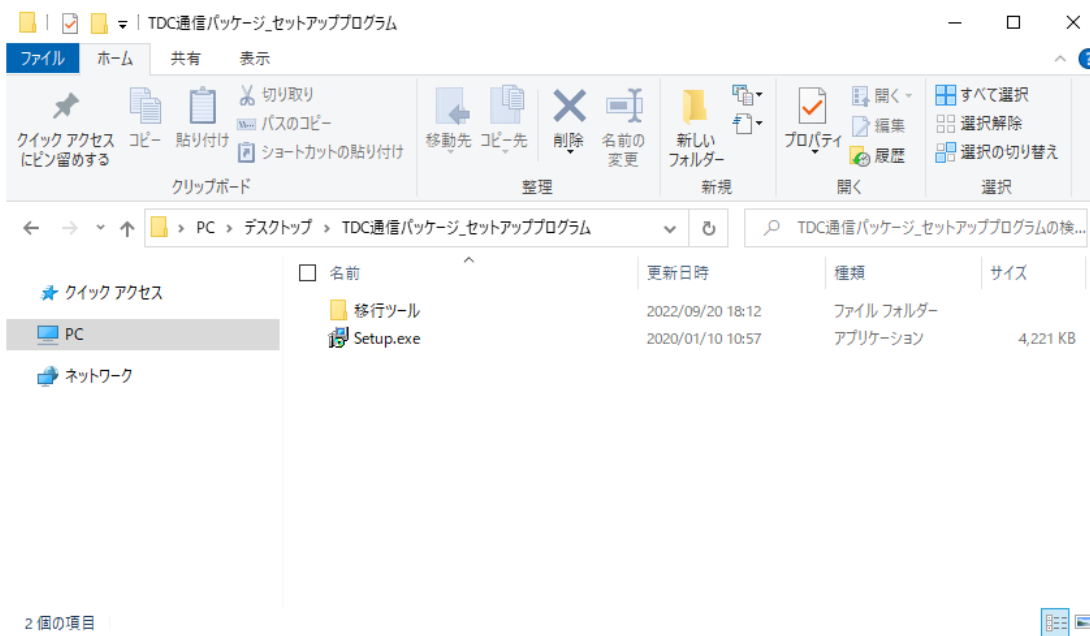
**注意**

管理者権限のあるユーザーでインストールを行って下さい。  
administrator権限のあるユーザーでインストールを行って下さい。

**注意**

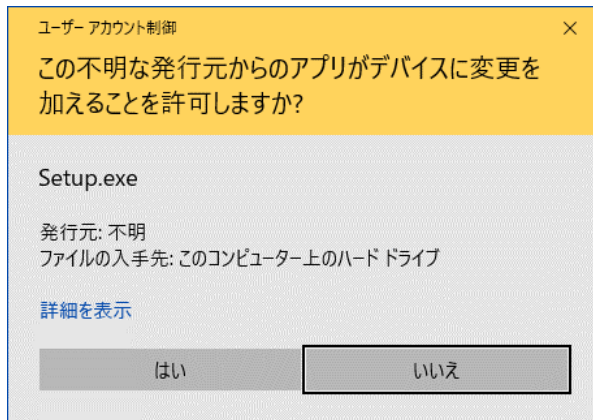
現行PCの通信パッケージは、  
インストール前にシステム停止を実施して下さい。

1. デスクトップにある「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」フォルダを開き、「Setup.exe」を実行します。(\*1)



- (\*1) デスクトップに「TDC通信パッケージ\_セットアッププログラム」フォルダがない場合は、「1. セットアッププログラムのダウンロード」を実施してください。

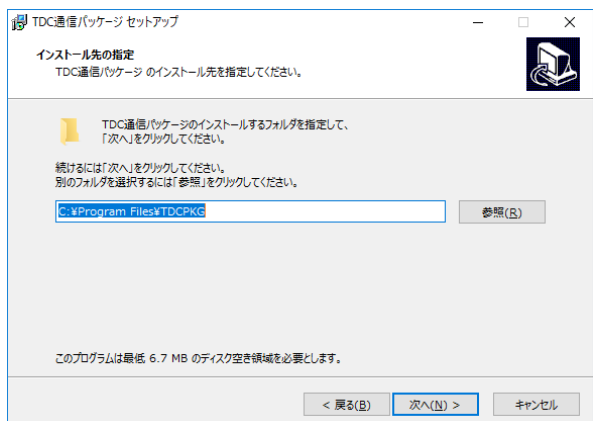
2. ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



3. 「次へ」をクリックします。



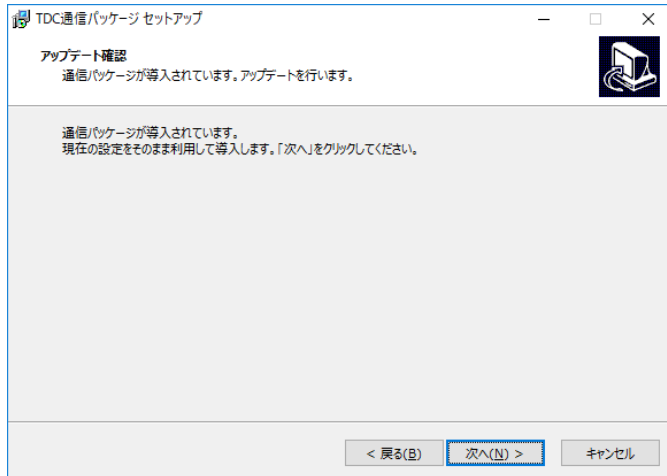
4. 「次へ」をクリックします。



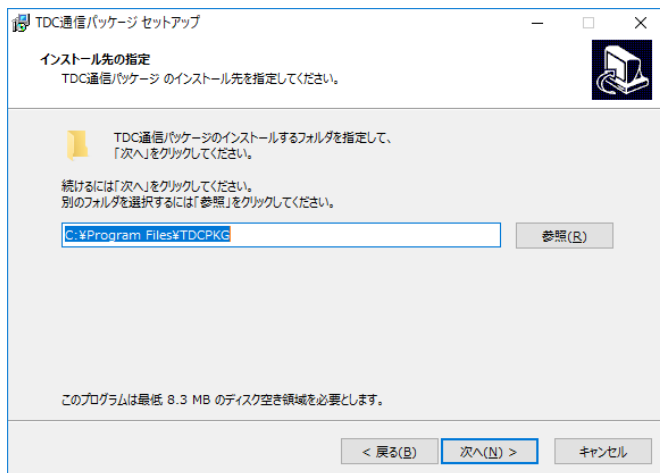
## 5. 「次へ」をクリックします。

※アップデート確認画面は、TDC通信パッケージが導入済みの場合に表示されます。

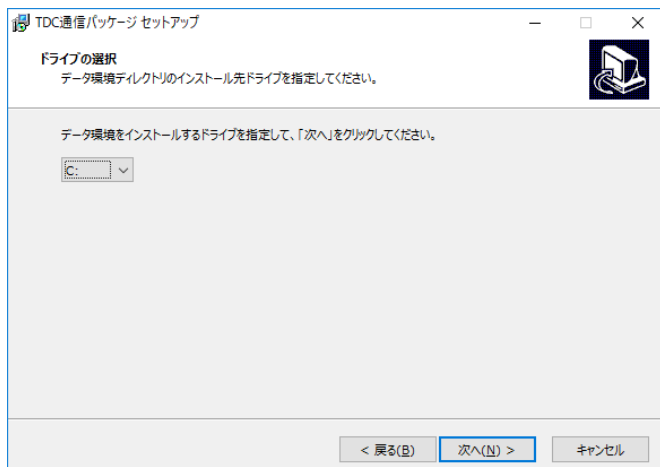
初めて導入される方は、この画面は表示されません。



## 6. 「次へ」をクリックします。

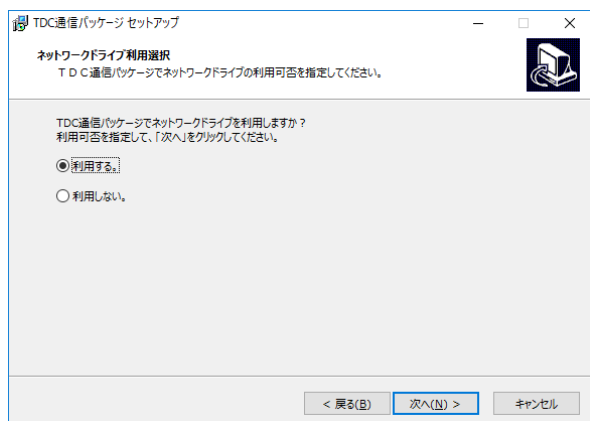


## 7. データファイル等を格納するドライブの指定です。「次へ」をクリックします。



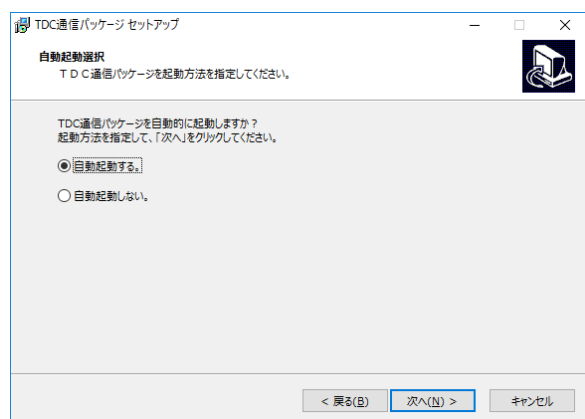
8. ネットワークドライブを「利用する」又は、「利用しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

※送受信ファイル格納先にネットワークドライブを利用される場合は「利用する」を選択してください。



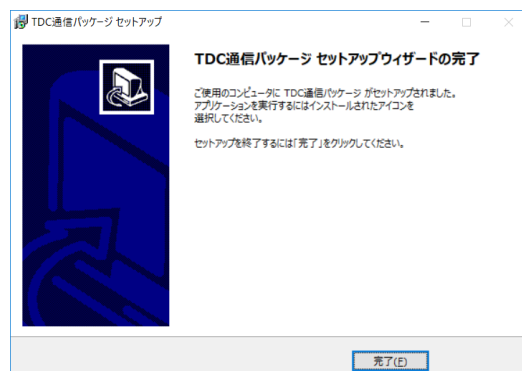
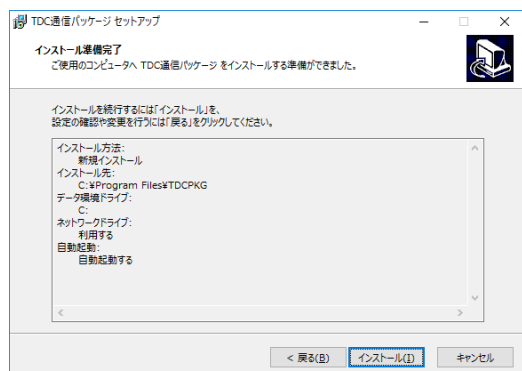
9. 「自動起動する」又は、「自動起動しない」を選択し、「次へ」をクリックします。

※毎回手動でシステムサービスの起動・停止を行いたい方は、「自動起動しない」を選択します。



「自動起動する」を推奨

10. 「インストール」をクリックし、インストールを開始後、「完了」をクリックしてインストールを終了します。



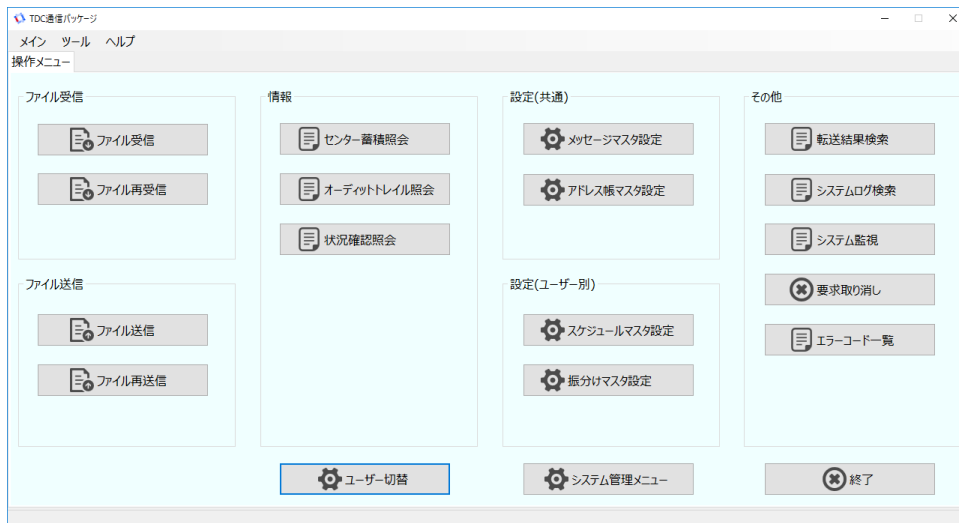
注意

インストール完了後、PCを再起動して下さい。

OS変更等で、利用するPCが変更になる場合のみ実施してください。

## ★ 新しいPCで作業します

1. デスクトップのTDC通信パッケージアイコンからTDC通信パッケージを起動します。



2. システム管理メニューを開き、「システム起動・停止」をクリックします。





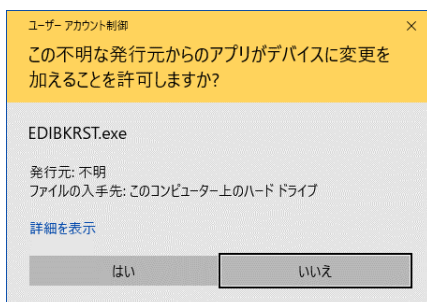
## 3. 「停止」をクリックし、システムを停止させます。



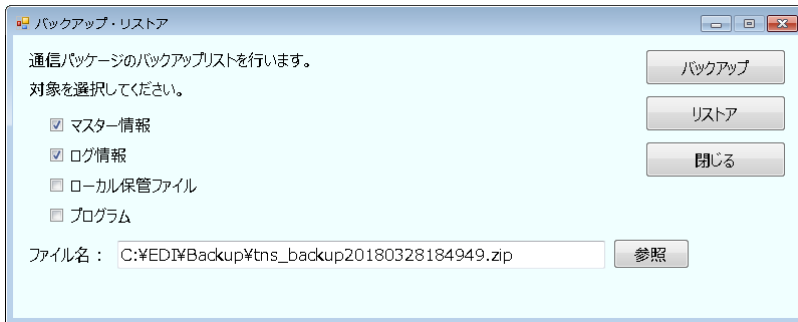
## 4. メニューバーのツール「バックアップ・リストア」を選択し、バックアップ・リストアツールを起動します。



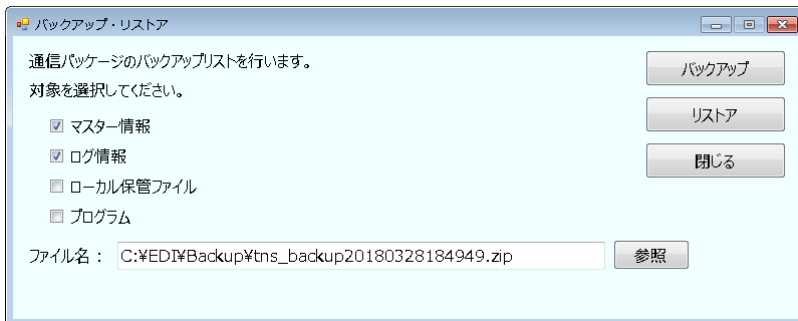
## 5. 表示されたポップアップにて「はい」をクリックします。



6. 「マスター情報」「ログ情報」「ローカル保管ファイル」を選択し、「ファイル名」へバックアップファイルのパスを入力します。

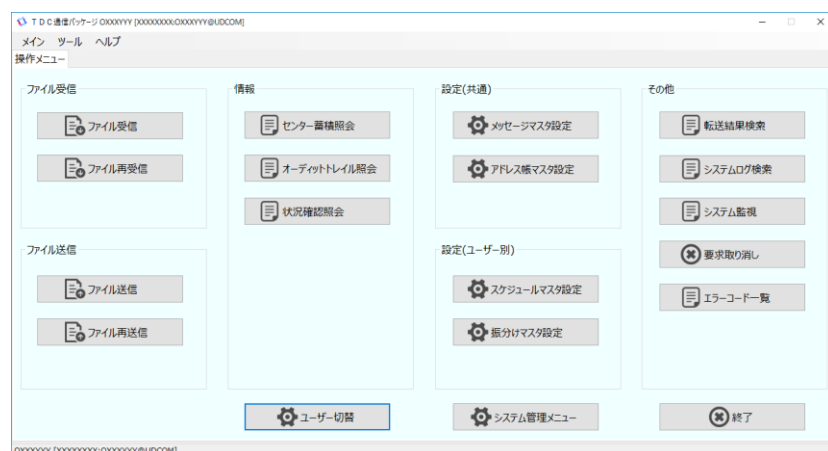


7. 「リストア」をクリックし、リストアします。



以上でリストア(データ移行)は完了です。

1. デスクトップのTDC通信パッケージアイコンからTDC通信パッケージを起動します。

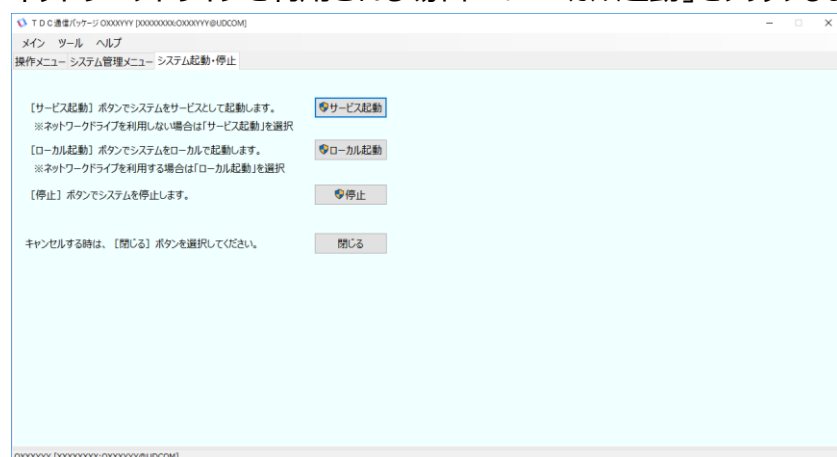


2. システム管理メニューを開き、「システム起動・停止」をクリックします。



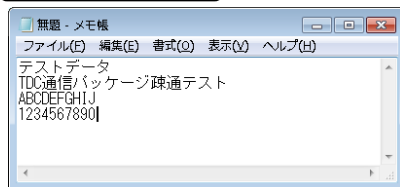
3. 以下ご利用方法に沿ったシステム起動を実行

ネットワークドライブを利用しない場合：「サービス起動」をクリックします  
 ネットワークドライブを利用される場合：「ローカル起動」をクリックします



1. テストデータの準備（作成）を行います。任意の情報でテキストファイルを作成し、保存します。

テストデータ作成例

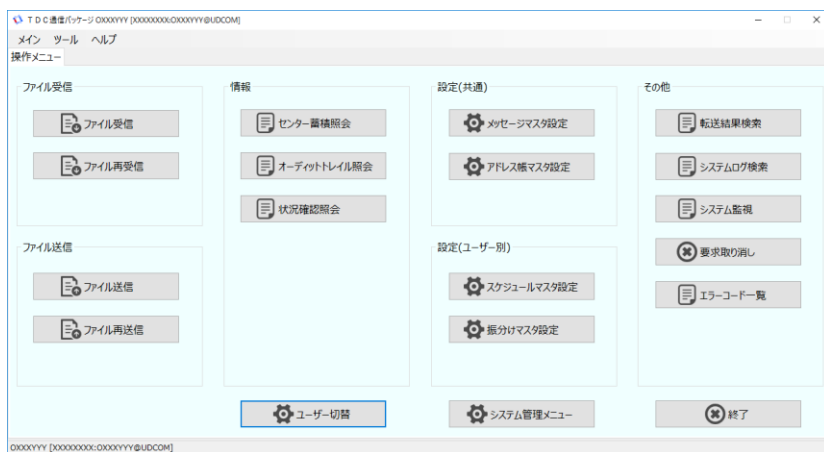


メモ帳等を使用しテストデータを作成し保存します

※ファイル名、保存場所は任意です

※作成したデータは項番8、10の「データ送受信テスト」にて使用します

2. 操作メニューから「メッセージマスタ設定」をクリックします。



3. 「登録」をクリックします。

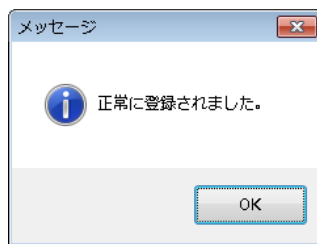


## 3.メッセージ情報を入力します。

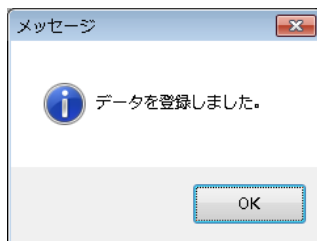
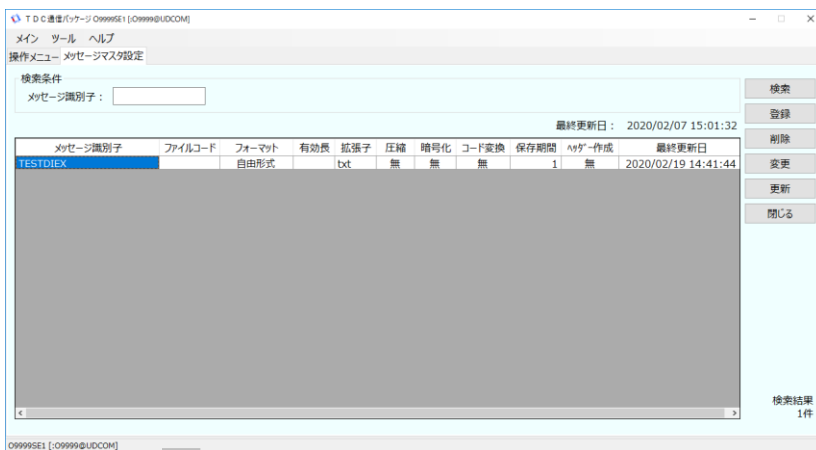
## ( 入力値例 )

項番	転送制御情報	入力値
1	メッセージ識別子	TESTDIEX
2	アプリケーションフォーマット	自由形式
3	アプリケーション有効長	blank (記入無し)
4	ファイルタイプ拡張子	txt
5	保存期間	1
6	コード変換	チェック無し (変換しない)
	圧縮	チェック無し (圧縮しない)
	暗号化	しない
	ヘッダー作成	しない
	一括受信	しない

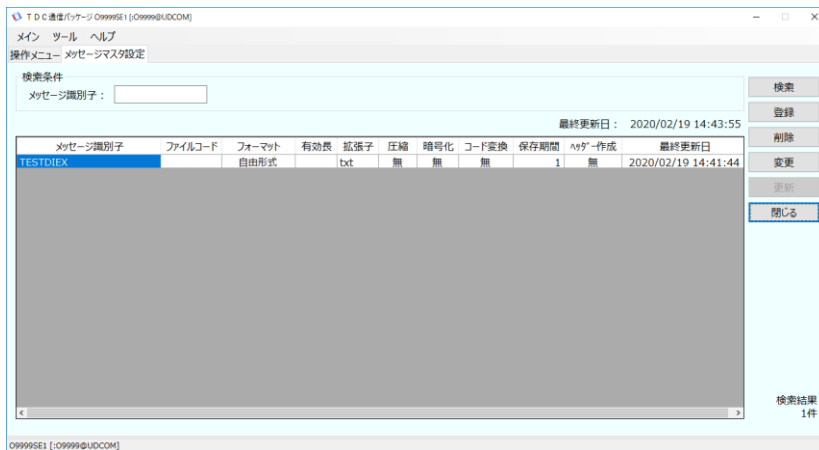
4. 「登録」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「戻る」をクリックします。



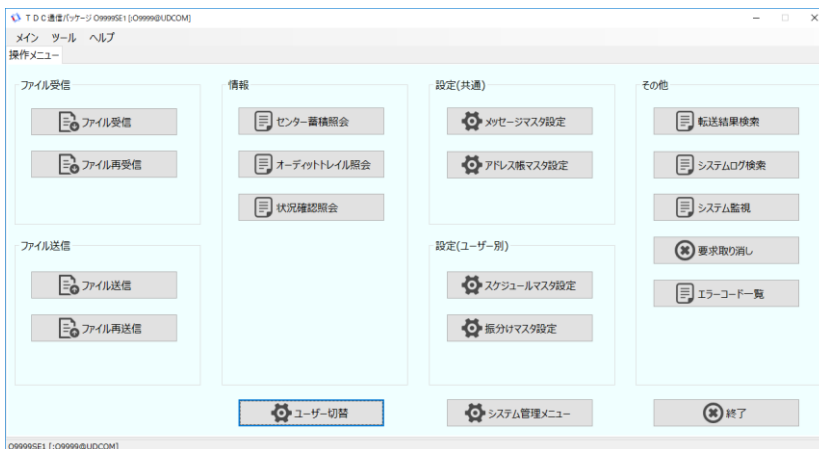
5. 「更新」をクリックし、情報を反映します。



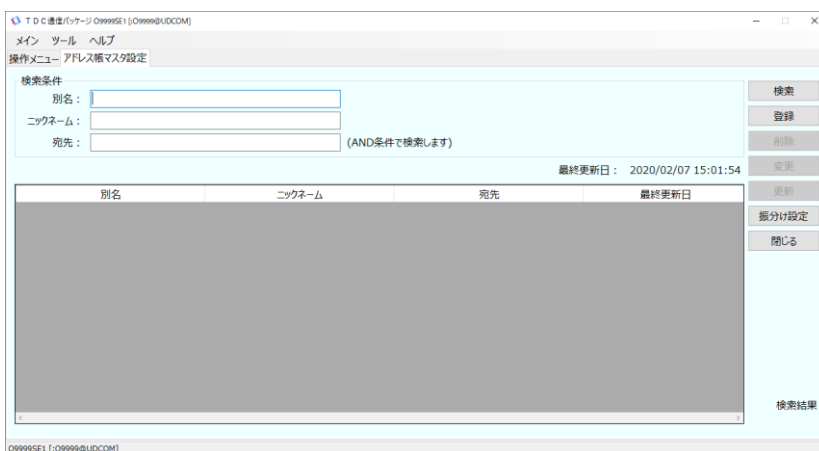
6. 「閉じる」をクリックし画面を終了します。



7. 操作メニューから「アドレス帳マスタ設定」をクリックします。



8. 「登録」をクリックします。



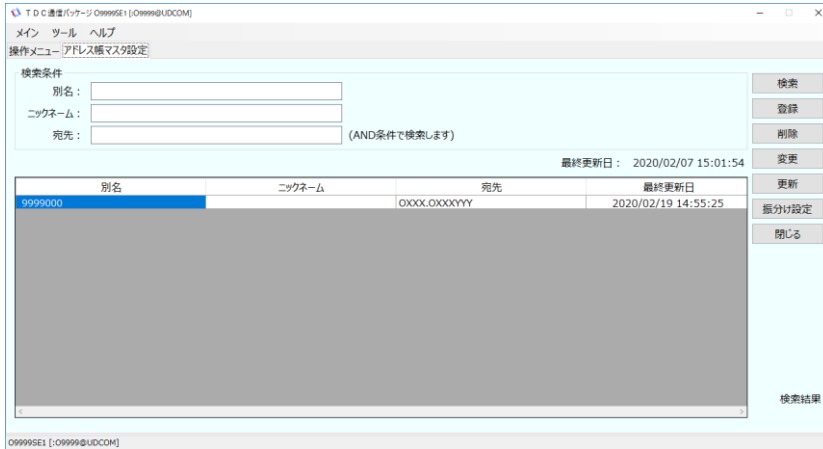
9. 自己宛用の情報を入力後に「登録」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「戻る」をクリックします。

別名の項目に、自分自身の取引先コード  
**(御社の取引先コード (5桁) + 取引先詳細コード (3桁))**  
 を入力して下さい。

宛先の項目に、自分自身のユーザーID  
**OXXX.OXXXXYY**を入力して下さい。  
 ↑ ↑  
 アカウント (4桁) EDI-ID (7桁)



10. 「更新」をクリックし、表示されたポップアップにて「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。



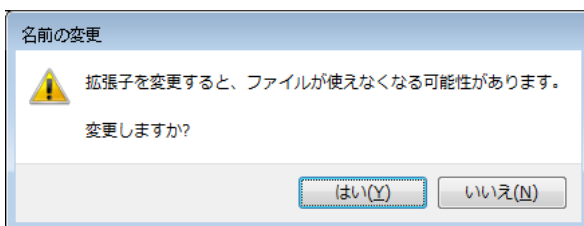
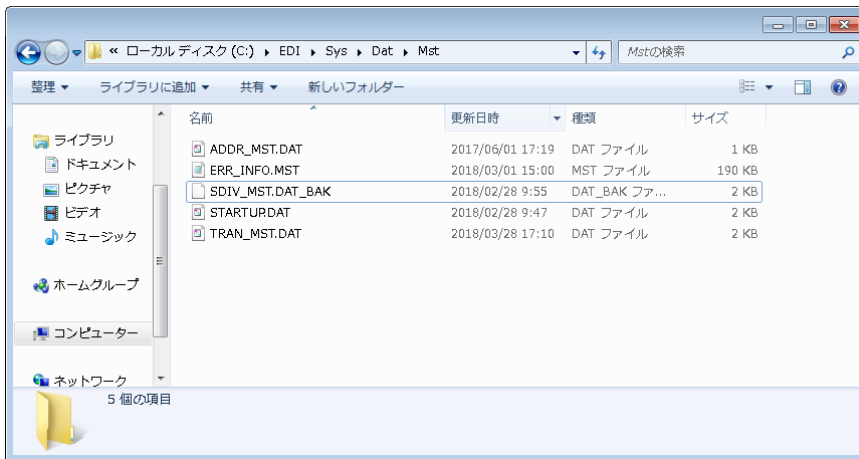
1. 下記フォルダを開きます。

「C:¥EDI¥SYS¥DAT¥MST」



2. 「SDIV\_MST.DAT」にカーソルを合わせ「F2」を押します。

3. ファイル名を「SDIV\_MST.DAT」→「SDIV\_MST.DAT.BAK」に変更します。



「はい (Y)」ボタンを  
選択します

DIEX

両方

DIEX（汎用）サービスにご加入のお客様は**次ページ**へ進んでください。

u-DIEX

u-DIEX（汎用）サービスのみにご加入のお客様は「9. 振り分け情報受信」へ進んでください。

## 8. データ送受信テスト(DIEX(汎用)センターとのテスト)

1. 操作メニューからファイル送信をクリックします。
2. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



「6. データ送受信テスト準備」で登録した  
TESTDIEXをダブルクリックします

3. 宛先の「選択」をクリックします。



「6. データ送受信テスト準備」で登録した  
EDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



**注意**

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

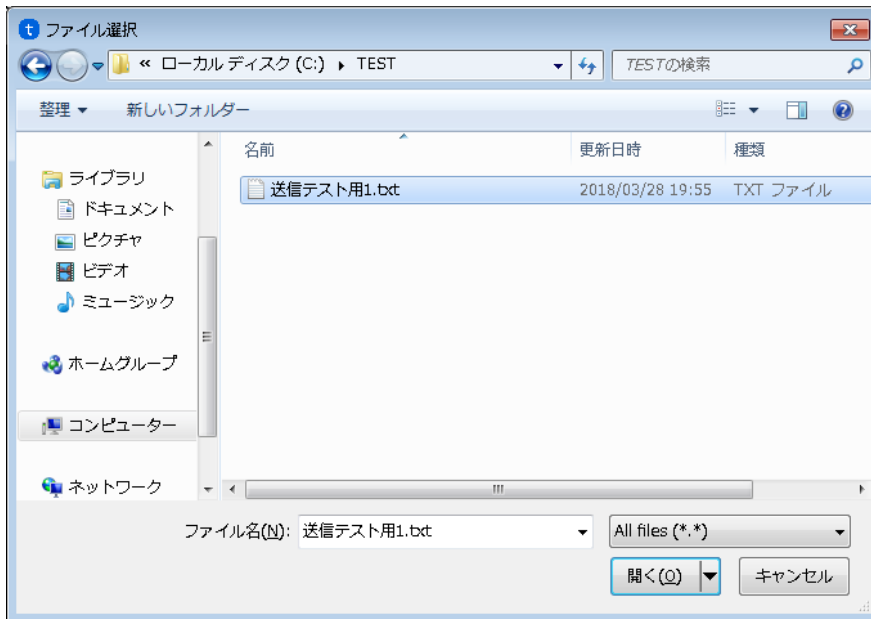
誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、  
**送信先の業務が停止する可能性**があります。  
宛先の指定には充分ご注意ください。

## 4. ファイル名の「選択」をクリックします。



作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

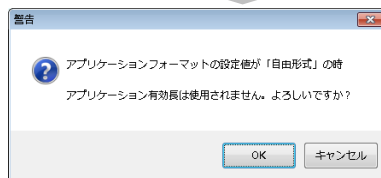
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

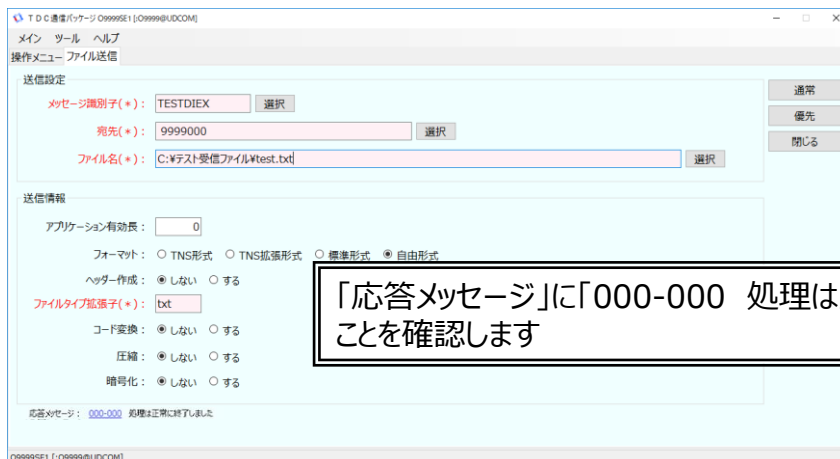
## 5. 「優先」をクリックします。



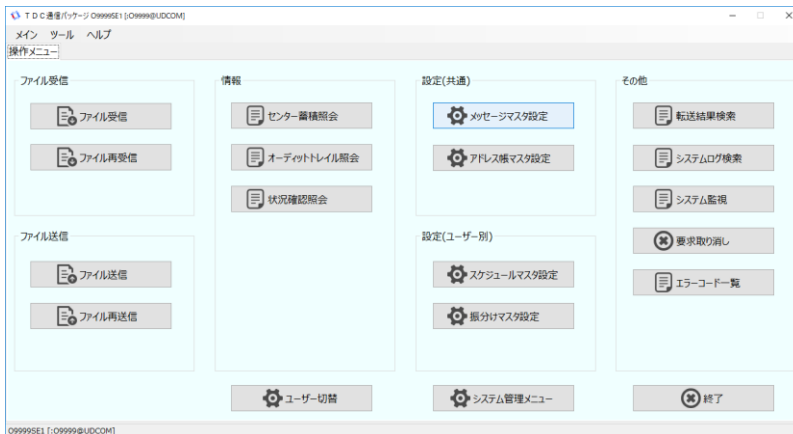
「はい (Y)」ボタンを選択します



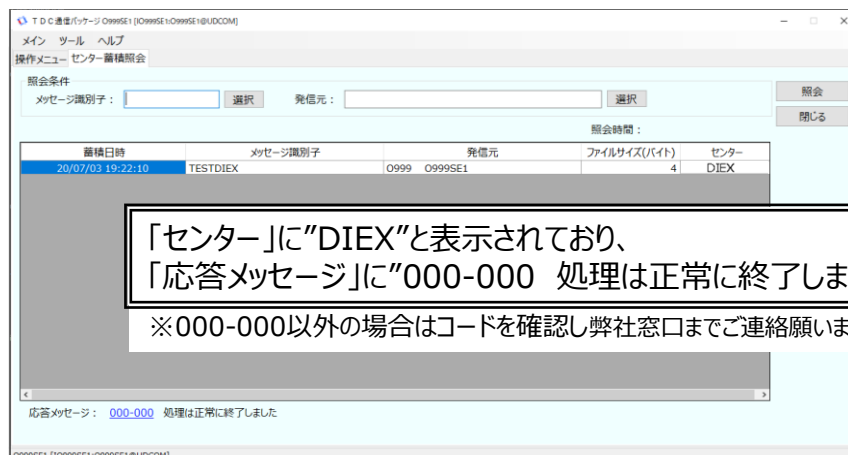
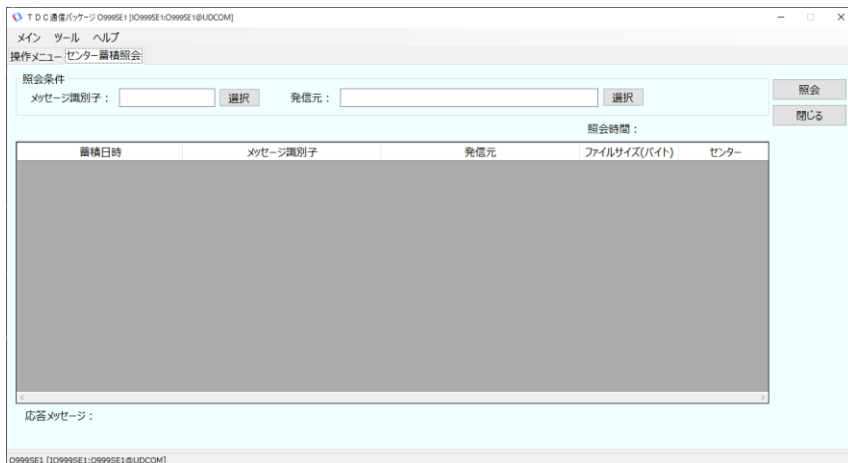
## 6. 処理が正常に終了したことを確認します。



7. 操作メニューから「センター蓄積照会」をクリックします。

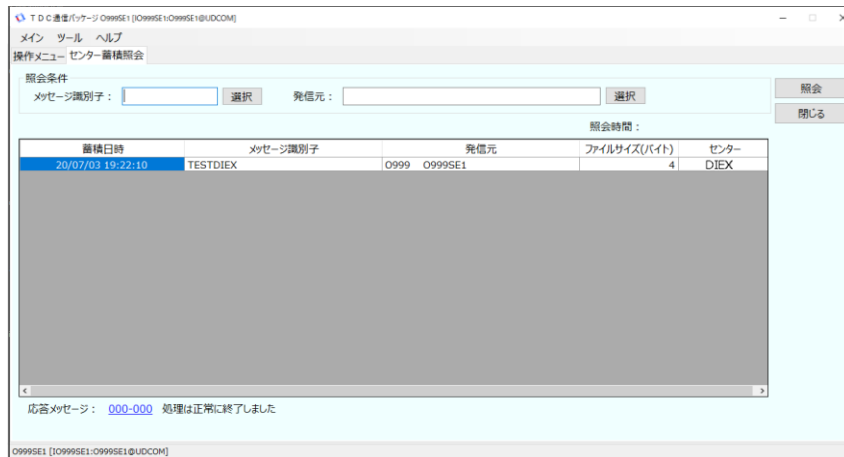


8. 「照会」をクリックします。





9. 「閉じる」をクリックしメッセージ蓄積照会を終了します。



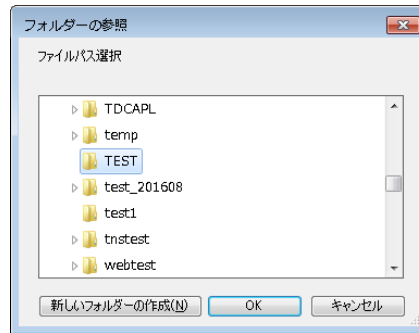
10. 操作メニューから「ファイル受信」をクリックします。

11. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



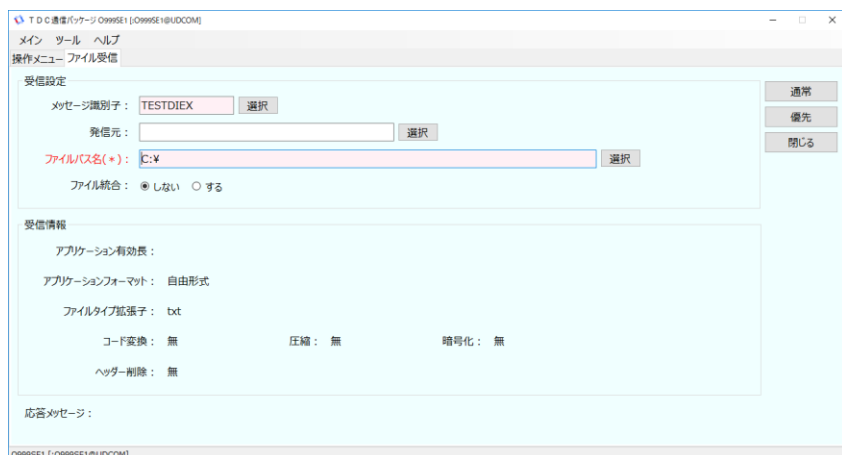
登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. ファイルパス名の「設定」をクリックします。

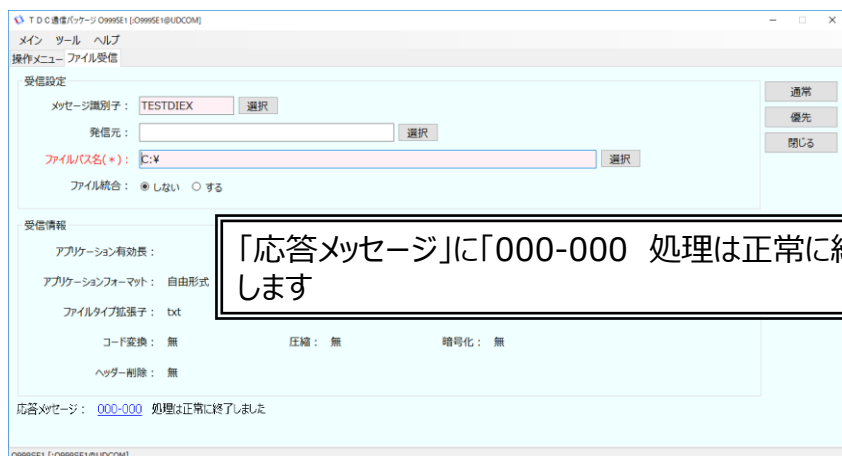


「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスを選択して、OKをクリックします

## 13. 「優先」をクリックします。



## 14. 処理が正常に終了したことを確認します。



## 15. 指定したフォルダーに受信したファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。

u-DIEX

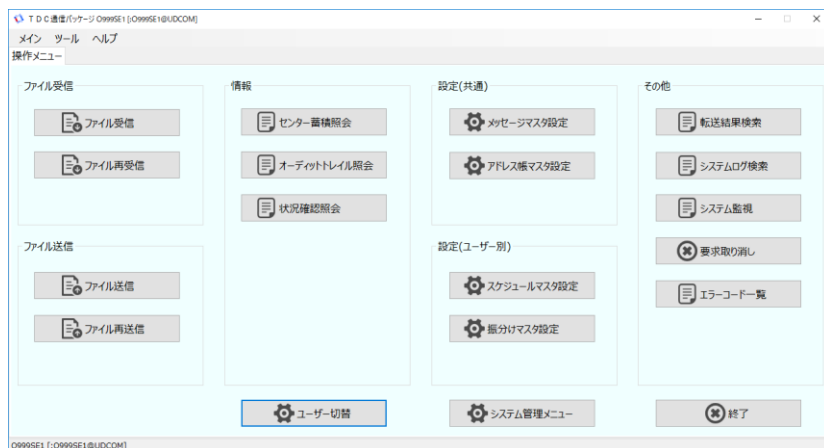
両方

u-DIEX（汎用）サービスにご加入の  
お客様は**次ページ**へ進んでください。

DIEX

DIEX（汎用）サービスのみにご加入  
のお客様は作業完了です。

1. 操作メニューから「システム管理メニュー」をクリックします。



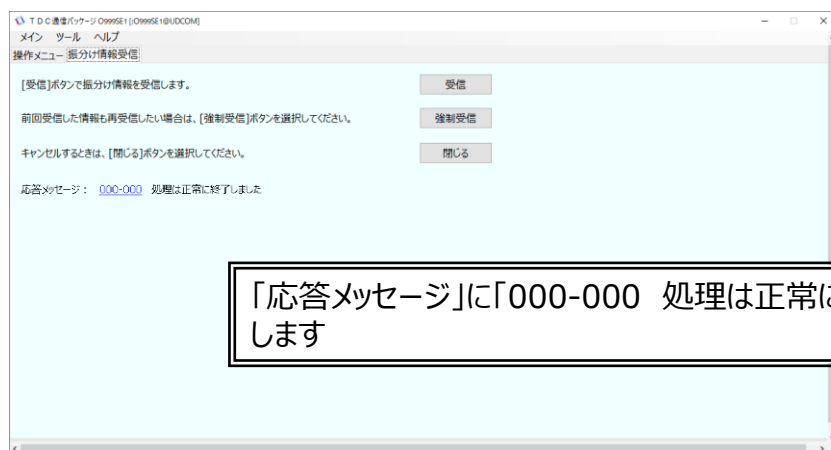
2. システム管理メニューから「振り分け情報受信」をクリックします。



### 3. 「強制受信」をクリックします。



### 4. 処理が正常に終了したことを確認します。



1. 操作メニューからファイル送信をクリックします。
2. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



「6. データ送受信テスト準備」で登録した  
TESTDIEXをダブルクリックします

## 3. 宛先の「選択」をクリックします。



「6. データ送受信テスト準備」で登録した  
EDI-IDに対応した別名をダブルクリックします

※ 誤って自分自身の別名以外を指定しないようご注意ください



**注意**

宛先は確実にお客様自身の別名を選択してください

誤ってお客様自身の別名(EDI-ID)以外にデータを送信した場合、

**送信先の業務が停止する可能性**があります。

宛先の指定には充分ご注意ください。

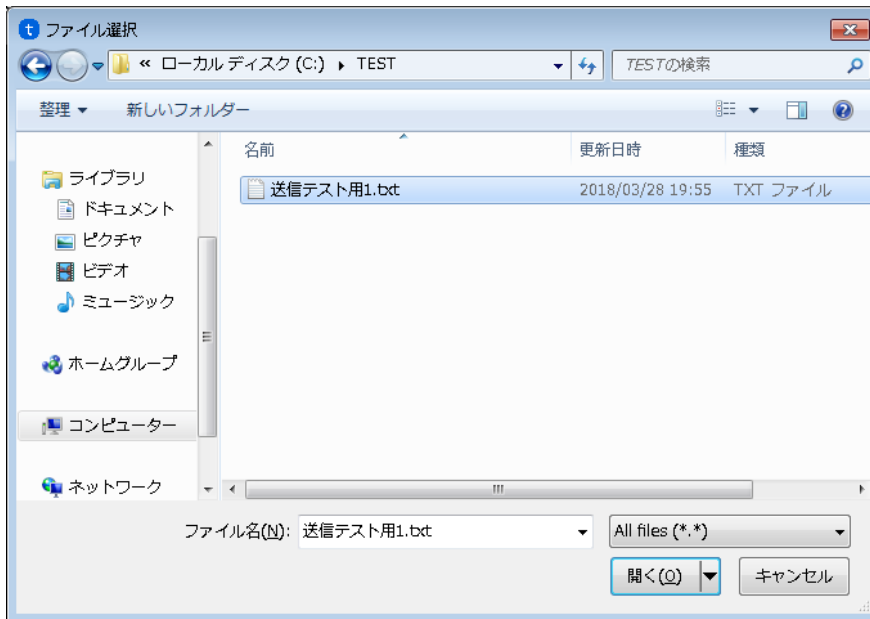


## 4. ファイル名の「選択」をクリックします。



作成済みテストデータを保存したフォルダーを選択します

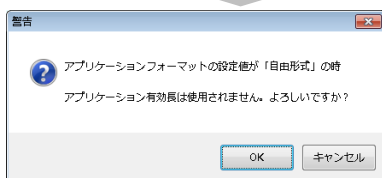
※表示例はテストデータの保管場所を「C:¥TEST」フォルダー配下に保管した場合



作成したファイルをダブルクリックします

※表示例はテストデータ名を「送信テスト用1.txt」で作成の場合

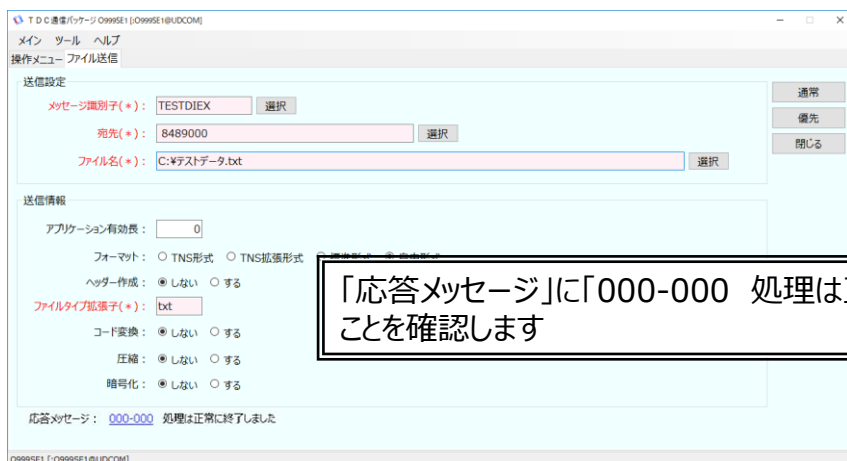
## 5. 「優先」をクリックします。



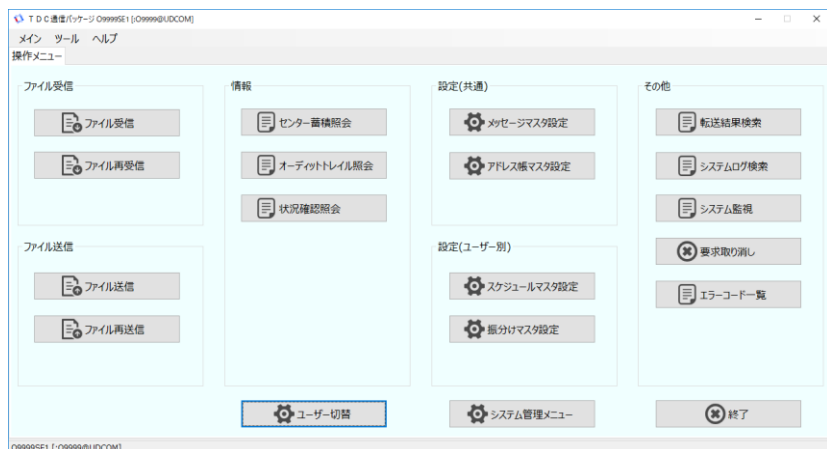
「はい (Y)」ボタンを選択します



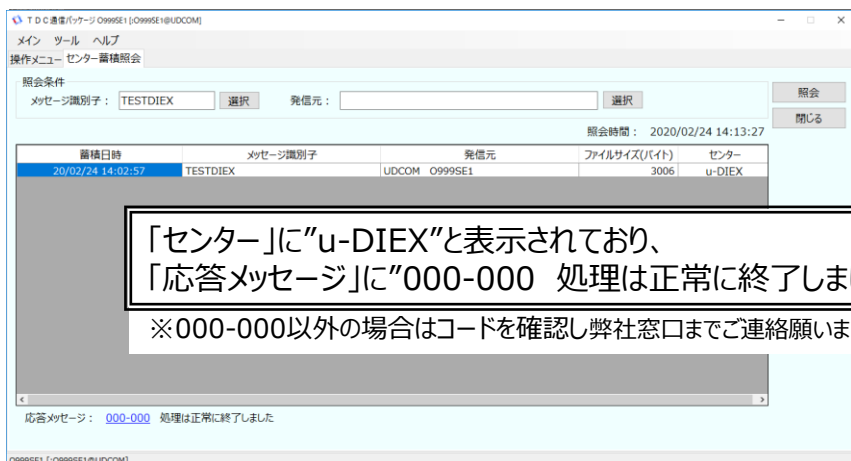
## 6. 処理が正常に終了したことを確認します。



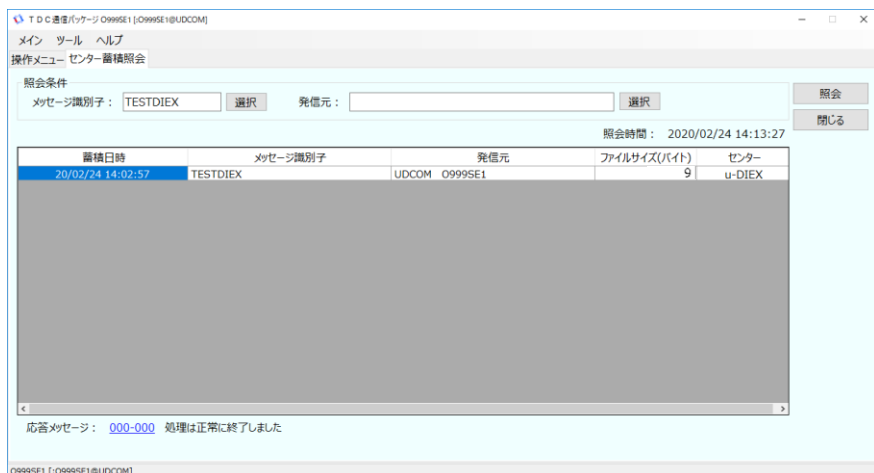
7. 操作メニューから「センター蓄積照会」をクリックします。



8. 「照会」をクリックします。



9. 「閉じる」をクリックしメッセージ蓄積照会を終了します。



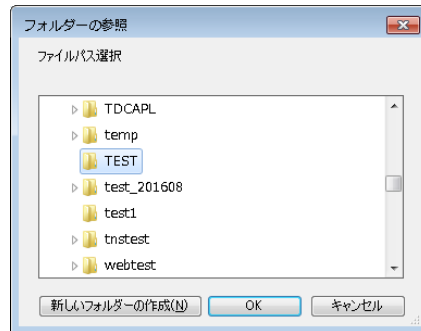
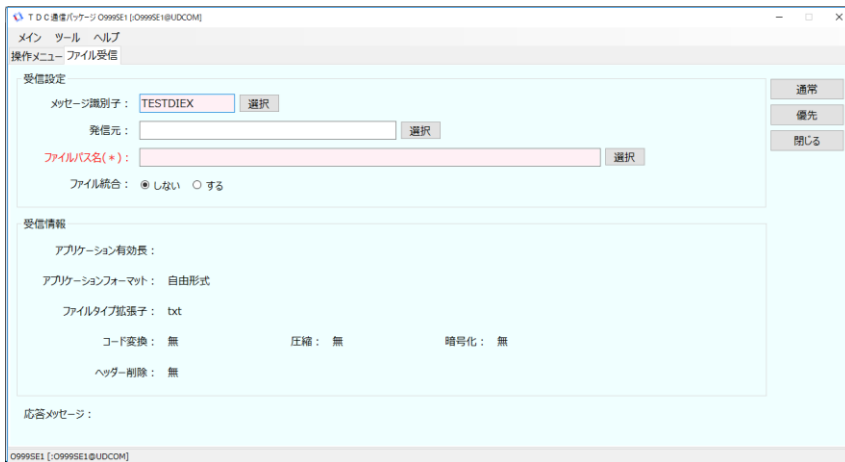
10. 操作メニューから「ファイル受信」をクリックします。

11. メッセージ識別子の「選択」をクリックします。



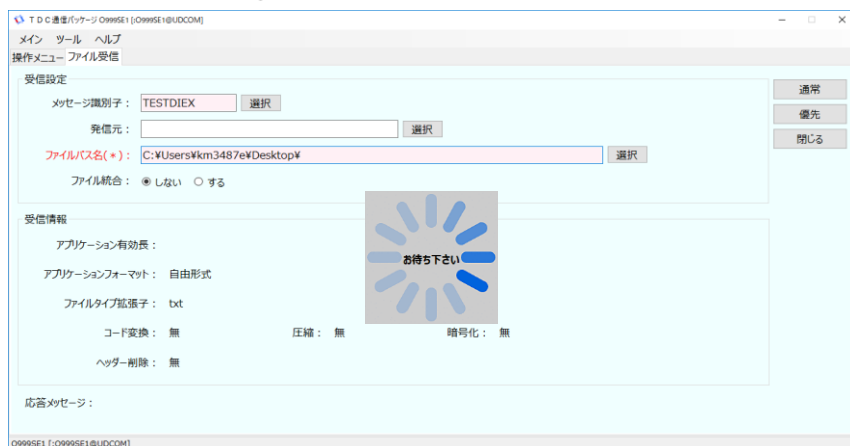
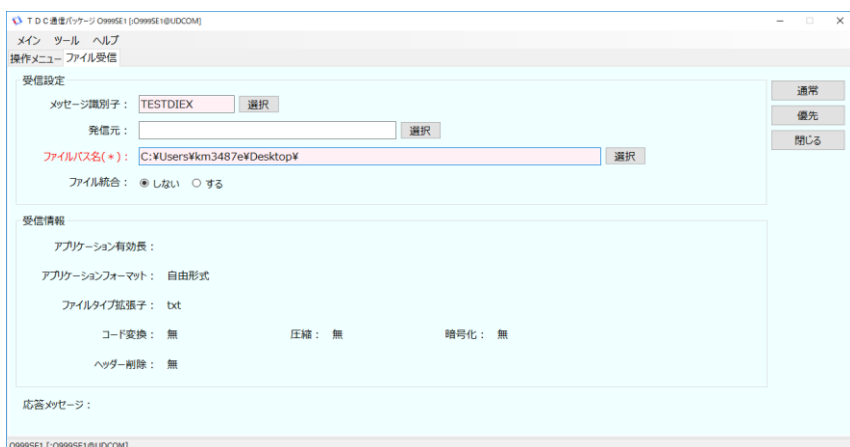
登録した「TESTDIEX」のメッセージ識別子をダブルクリックします。

12. ファイルパス名の「設定」をクリックします。

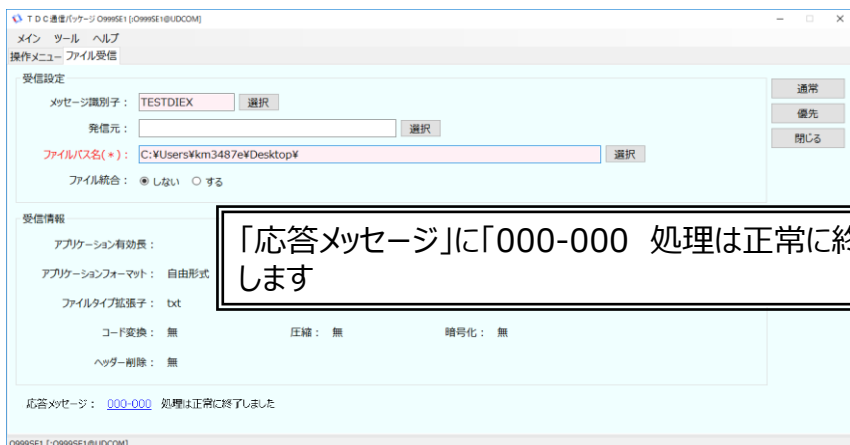


「ファイルパス選択」画面から送信テスト用のファイルと同一のパスを選択して、OKをクリックします

## 13. 「優先」をクリックします。



## 14. 処理が正常に終了したことを確認します。



## 15. 指定したフォルダーに受信したファイルが存在し、内容が正しいことを確認します。

---

## A. 参考情報

.NET Frameworkがインストールされていない場合、以下対応が必要となります。

1. Microsoftサイト「.NET Frameworkのインストール」から、.NET Frameworkをダウンロードします。

必要なバージョンは、.NET Framework 4 以上です。

2. Microsoftサイトにあるインストール方法にしたがって、インストールを行って下さい。

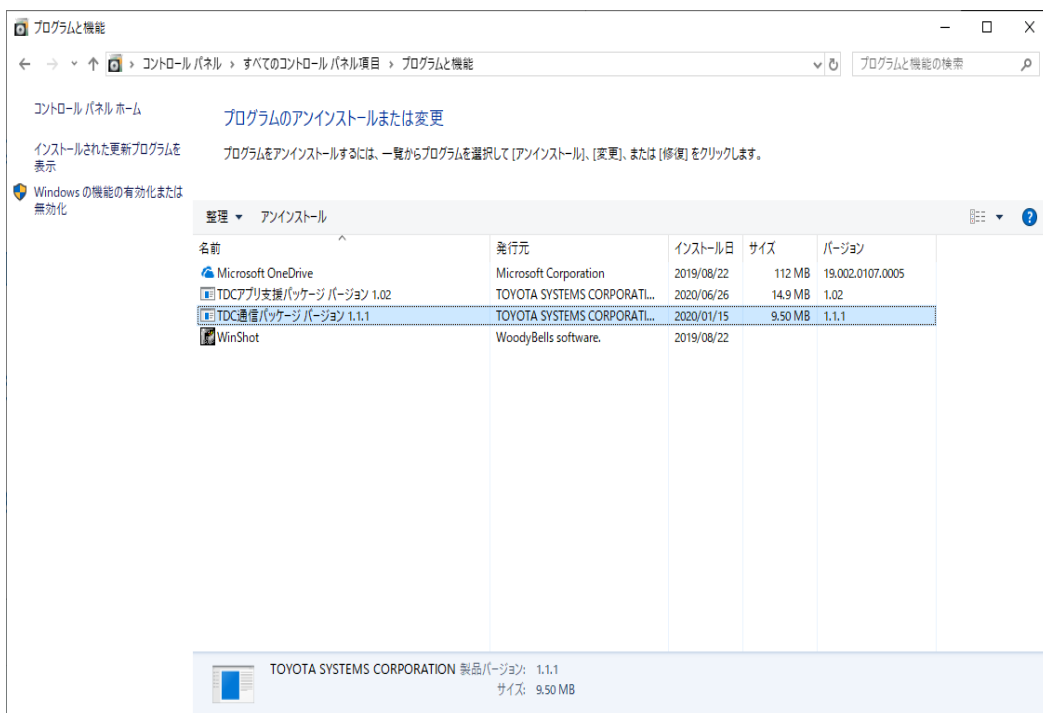


**注意**

アンインストールを実施する前にご確認ください。

- ・アンインストールを行う際は、他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。
- ・システム管理メニューからシステム停止を行い、システムが停止済みであることを確認してください。

1. Windowsのコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「TDC通信パッケージ バージョン x.x.x」を選択し、「アンインストール」をクリックします。  
※バージョンは、導入されているパッケージのバージョンにより異なります。



画面の指示に従って、アンインストールを行ってください。

お問い合わせ先

株式会社 トヨタシステムズ カスタマーセンター

ポータルサイト：

<https://ts-customer-center.custhelp.com/>